

山口大学

ひと・まち未来共創学環

設置の趣旨等を記載した書類（資料）

設置の趣旨等を記載した書類 資料目次

【資料 1-1】	ディプロマ・ポリシーとカリキュラムの関係	3
【資料 1-2】	ディプロマ・ポリシーとカリキュラムの関係（学年別）	4
【資料 2】	教育課程の概要（カリキュラムイメージ）	5
【資料 3-1】	履修モデル（ひと・まち共創心理系プログラム）	6
【資料 3-2】	履修モデル（ひと・まち共創社会系プログラム①）	7
【資料 3-3】	履修モデル（ひと・まち共創社会系プログラム②）	8
【資料 4】	各履修モデルの DP 区分別取得単位数	9
【資料 5-1】	PBL 受入先一覧	10
【資料 5-2】	実習受入承諾書（PBL）	11
【資料 6-1】	心理実習受入先一覧	15
【資料 6-2】	実習受入承諾書（心理実習）	16
【資料 7】	ひと・まち未来共創学環の運営体制	22
【資料 8】	Yu-DX 地域の未来を担う DX 人材育成プログラム	23

【資料 1-1】ディプロマ・ポリシーとカリキュラムの関係

D P	DP[1] 幅広い教養と汎用的技能			DP[2] 専門的な知識・技能				DP[3] 自律・協働する力と物事をかたちにする力	
	1-1 分野横断的基礎教養	1-2 数理的素養	1-3 デザイン思考・コミュニケーション能力	2-1 心理・行動科学的素養	2-2 社会科学的素養				
					経済学	経営学	社会学		地域学
選 択 科 目		データ科学のための発展数学 選択必修(1科目) 統計学演習 心理統計学演習(心理統計法)	心理学的支援法 多文化共生とコミュニケーション カウンセリングマインド論 デザイン演習 コミュニケーション概論	発達心理学 臨床心理学概論 「次世代育成と教育」の心理学(教育・学校心理学) 心理学研究法 形態機能学Ⅰ(人体の構造と機能及び疾病) 「障害と社会の多様性」の心理学(障害者・障害児心理学) 「健康と福祉」の心理学(健康・医療心理学) 「地域福祉と支援サービス」の心理学(福祉心理学) 「安全・安心なまちづくり」の心理学(司法・犯罪心理学) 知覚・認知心理学Ⅱ 感情・人格心理学 学習・言語心理学 神経・生理心理学 心理学実験 ヘルスリテラシー 関係行政論 公認心理師の職務 精神保健学(精神疾患とその治療) 心理演習 心理研究演習 組織における健康リスクマネジメント 心理実習 異文化間心理学概論 心理的アセスメント	ミクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅱ 経済統計学Ⅱ 計量経済学 産業連関論 経済政策総論 金融経済論 財政学 公共政策論 地域経済論 労働経済論 医療福祉経済論 国際経済学 国際金融論 経済発展論 観光政策概論 観光経済学 観光統計学 観光地域経済論 環境経済学	財務管理論 国際経営論 地域企業経営論 中小企業経営論 企業論 多国籍企業論 経営統計学 会計学Ⅰ 会計学Ⅱ 簿記 流通論Ⅰ 流通論Ⅱ マーケティング論 マーケティング戦略論 商品学 商品開発論 保険論Ⅰ 保険論Ⅱ 観光マーケティング論 ヘルスツーリズム論 観光文化心理学	質的調査データ解析法 現代社会学概論(社会調査)課題の発見と検証 現代社会学概論(基礎理論) 社会学概論 民俗学・文化人類学概論 現代社会学特殊講義(地域福祉) 現代社会学特殊講義(コミュニティと災害) 社会学心理学特殊講義(社会問題) 社会学心理学特殊講義(コミュニケーション) 民俗学・文化人類学特殊講義(現代民俗) 民俗学・文化人類学特殊講義(生活文化) 人材育成論 環境教育概論 子ども社会学概論 地域福祉社会学	情報職業論 視覚伝達デザイン マルチメディア概論(実習を含む。) データベース概論(実習を含む。) 情報化社会学概論(情報倫理を含む。) ビジネスデータ科学 情報処理言語Ⅰ(実習を含む。) 情報処理言語Ⅱ(実習を含む。) 情報通信ネットワーク論(実習を含む。) プロジェクトマネジメント論	
		データ科学のための基礎数学 統計学概論	デザイン思考論 英語Ⅰa / Ⅰa、Ⅰb / ⅠⅡb 英会話Ⅰa / Ⅰa、Ⅰb / ⅠⅡb	「産業・組織とひとづくり」の心理学(産業・組織心理学) 知覚・認知心理学Ⅰ 社会心理学(社会・集団・家族心理学) 行動科学概論 人間行動科学入門(心理学概論) ウェルビーイング学	経済学概論 経済と法1 経済と法2 経済と法3	経営学概論 経営と法2	コミュニティデザイン論 社会学概論 社会調査法Ⅰ(質的調査) 社会調査法Ⅱ(量的調査) 社会学	地域学 地域文化論 山口と世界	データサイエンス概論 データサイエンス演習 人工知能概論 人工知能演習 情報科学概論(実習を含む。) DX概論 データ科学と社会Ⅰ データ科学と社会Ⅱ
必 修 科 目	運動健康科学 知の広場 キャリア教育 哲学 歴史学 自然科学1 自然科学2 人間の発達と育成1 人間の発達と育成2 文化の継承と創造1 文化の継承と創造2 社会と医療 環境と人間 食と生命 基礎セミナー 知的財産入門								

赤字:必修科目, 黒字:選択科目



共通教育科目

学環基盤科目

ひと・まち共創心理系プログラム専門科目

ひと・まち共創社会系プログラム専門科目

卒業研究・課題解決科目





【資料 1-2】ディプロマ・ポリシーとカリキュラムの関係(学年別)

D P 科目 区分 学年	DP[1] 幅広い教養と汎用的技能			DP[2] 専門的な知識・技能					DP[3] 自律・協働する 力と物事をかた ちにする力		
	1-1 分野横断的基礎教養	1-2 数理的素養	1-3 デザイン思考・ コミュニケーション能力	2-1 心理・行動科学的素養	2-2 社会科学の素養			2-3 デジタル技術・ AI技術活用力		2-4 問題解決力	
					経済学	経営学	社会学	地域学			
4						会計学2			情報職業論	卒業研究(地域課題研究)	
3	キャリア教育		心理学的支援法	異文化間心理学概論 心理的アセスメント 心理実習(通年)	ミクロ経済学Ⅱ 経済統計学Ⅱ 計量経済学 産業連関論 経済政策総論 財政学 国際経済学 国際金融論 観光地域経済論	国際経営論 中小企業経営論 企業論Ⅱ 流通論Ⅱ マーケティング戦略論 商品開発論 保険論Ⅱ ヘルスツーリズム論 観光文化心理学	社会心理学特殊講義(社会問題) 社会心理学特殊講義(コミュニケーション) 民俗学・文化人類学特殊講義(生活文化)		情報化社会概論(情報倫理を含む。) 視覚伝達デザイン	DXによる地域課題解決(PBL)Ⅱ	研究演習
3				関係行政論 公認心理師の職業 精神保健学(精神疾患とその治療) 心理演習 心理研究演習 組織における健康リスクマネジメント	マクロ経済学Ⅱ 経済統計学Ⅰ 金融経済論 公共政策論 地域経済論 労働経済論 医療福祉経済論 経済発展論 観光政策概論 観光経済学 観光統計学 環境経済学	財務管理論 地域企業経営論 多国籍企業論 経営統計学 会計学Ⅰ 簿記 流通論Ⅰ マーケティング論 商品学 保険論Ⅰ 観光マーケティング論	現代社会学特殊講義(地域福祉) 現代社会学特殊講義(コミュニティと災害) 民俗学・文化人類学特殊講義(現代民俗) 人材育成論 環境教育概論 子ども社会学概論 地域福祉社会学		人工知能演習 データサイエンス概論 データサイエンス演習 マルチメディア概論(実習を含む。) データベース概論(実習を含む。) ビジネスデータ科学	DXによる地域課題解決(PBL)Ⅰ	
2		データ科学のための発展数学 統計学演習	カウンセリングマインド論 多文化共生とコミュニケーション	「障害と社会の多様性」の心理学(障害者・障害者心理学) 「健康と福祉」の心理学(健康・医療心理学) 「地域福祉と支援サービス」の心理学(福祉心理学) 「安全・安心なまちづくり」の心理学(司法・犯罪心理学) 知覚・認知心理学Ⅱ 感情・人格心理学 学習・言語心理学 神経・生理心理学 心理学実験 ヘルスリテラシー	選択必修(6単位,3パターンから選択) マクロ経済学Ⅰ 経営管理論		コミュニティデザイン論 現代社会学概論(基礎理論) 社会心理学概論 民俗学・文化人類学概論		人工知能概論 情報処理言語Ⅱ(実習を含む。)	プロジェクトマネジメント論	
2		選択必修(1科目) 統計学演習 心理統計学演習(心理学統計法)	デザイン思考論 デザイン演習	「産業・組織とひとづくり」の心理学(産業・組織心理学) 「次世代育成と教育」の心理学(教育・学校心理学) 心理学研究法 形態機能学Ⅰ(人体の構造と機能及び疾病) 知覚・認知心理学Ⅰ 行動科学概論 社会心理学(社会・集団・家族心理学)	ミクロ経済学Ⅰ 経営学概論 経営組織論 経営戦略論		質的調査データ解析法 現代社会学概論(社会調査)課題の発見と検証	地域学	DX概論 情報処理言語Ⅰ(実習を含む。)	DXによる地域課題解決(PBL)入門	
1	基礎セミナー データ科学と社会Ⅰ データ科学と社会Ⅱ 知的財産入門 運動健康科学 山口と世界 英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語会話Ⅰa 英語会話Ⅱa 哲学 歴史学 社会学 経済と法Ⅰ 経済と法Ⅱ 経済と法Ⅲ 自然科学Ⅰ 人間の発達と文化の継承と創造Ⅰ 社会と医療 環境と人間 食と生命	データ科学のための基礎数学	コミュニケーション概論	発達心理学 臨床心理学概論 人間行動科学入門(心理学概論) ウェルビーイング学	経済学概論		社会学概論 社会調査法Ⅰ(質的調査) 社会調査法Ⅱ(量的調査)	地域文化論	情報通信ネットワーク論(実習を含む。) 情報科学概論(実習を含む。)		

赤字:必修科目, 黒字:選択科目

 共通教育科目
 ひと・まち共創心理系プログラム専門科目
 卒業研究・課題解決科目
 学環基盤科目
 ひと・まち共創社会系プログラム専門科目

【資料2】教育課程の概要（カリキュラムイメージ）

◇ひと・まち共創心理系プログラム

心の豊かさや地域や社会の豊かさについて、ひとやコミュニティにおける心理や行動の視点に重きを置き、ひとや地域の課題を見出し、デジタル技術やデータサイエンスの知識を活用しながら、その解決につなげることで、ひとや地域のウェルビーイングに貢献する人材の養成を企図したプログラム。

◆ひと・まち共創社会系プログラム

心の豊かさや地域や社会の豊かさについて、自治体や企業活動の視点に重きを置き、ひとや地域の課題を見出し、デジタル技術やデータサイエンスの知識を活用しながら、その解決につなげることで、ひとや地域のウェルビーイングに貢献する人材の養成を企図したプログラム。

卒業研究（地域課題研究）

DXによる地域課題解決（PBL）

心理・行動科学系

発達心理学、学習・言語心理学、感情・人格心理学、臨床心理学概論、心理的アセスメント、精神保健学、など

・経済学系
地域経済論
地域企業経営論 等

社会科学系

・経営学系
観光マーケティング論
地域企業経営論 等

・社会学系
現代社会学概論
現代社会学特殊講義 等

課題解決
・実践

専門科目
プログラム

知識・理解

学環
基盤科目

汎用的能力

データサイエンス概論・演習
人工知能概論・演習
統計学概論・演習、心理統計学演習
(心理学統計法)

心理学的支援法
カウンセリングマインド論
デザイン思考論

ビジネスデータ科学
情報処理言語Ⅰ・Ⅱ

等

知識・理解

人間行動科学入門（心理学概論）
知覚・認知心理学
ウェルビーイング学

地域学
コミュニティデザイン論

ミクロ経済学Ⅰ
マクロ経済学Ⅰ
経営組織論

社会心理学
社会学概論

等

共通教育

汎用的能力

知的財産入門 データ科学と社会 知の広場 山口と世界 社会と医療 人間の発達と育成

知識・理解

等



【資料3-1】履修モデル(ひと・まち共創心理系プログラム) 128単位

科目区分 ()内は単位数		1年次 前期(26)	1年次 後期(23)	2年次 前期(29)	2年次 後期(19)	3年次 前期(21)	3年次 後期(6)	4年次 前期()	4年次 後期(4)
専門科目	卒業研究 科目						研究演習	卒業研究(地域課題研究)	
	課題解決 科目			DXによる地域課題解決(PBL) 入門		DXによる地域課題解決(PBL) I	DXによる地域課題解決(PBL) II		
	心理学 行動科学 / 社会科学		発達心理学 臨床心理学概論	「次世代育成と教育」の心理学(教育・学校心理学) 心理学研究法 質的調査データ解析法	「障害と社会の多様性」の心理学(障害者・障害児心理学) 「健康と福祉」の心理学(健康・医療心理学) 「地域福祉と支援サービス」の心理学(福祉心理学) 「安全・安心・なまちづくり」の心理学(司法・犯罪心理学) 知覚・認知心理学II 感情・人格心理学 心理学実験	心理研究演習 現代社会学特殊講義(コミュニティと災害) 子ども社会学概論			
学環基盤科目	ウェルビーイング学 情報科学概論(実習を含む。) 経営学概論	データ科学のための基礎数学 コミュニケーション概論 人間行動科学入門(心理学概論) 経済学概論 社会学概論 社会調査法I(質的調査) 社会調査法II(量的調査) 地域文化論 情報通信ネットワーク論(実習を含む。)	統計学概論 心理統計学演習(心理学統計法) デザイン思考論 行動科学概論 社会学概論(社会・集団・家族心理学) 知覚・認知心理学I 経営戦略論 経営学概論 経営組織論 地域学 DX概論	「産業・組織とひとづくり」の心理学(産業・組織心理学) コミュニティデザイン論 人工知能概論	心理学的支援法 人工知能演習 データサイエンス概論 データサイエンス演習 データベース概論(実習を含む。) ビジネスデータ科学	情報化社会概論(情報倫理を含む。)			
	運動健康科学 知的財産入門 哲学 歴史学 自然科学1 人間の発達と育成1 文化の継承と創造1 社会と医療 環境と人間 食と生命 基礎セミナー	英語 I a / II a 英会話 I a / II a データ科学と社会 I データ科学と社会 II 社会学 経済と法3 経済と法2 経済と法1 山口と世界	知の広場 自然科学2 人間の発達と育成2 文化の継承と創造2	英語 I b / II b 英会話 I b / II b			キャリア教育		

赤字: 必修科目, 黒字: 選択科目

- 共通教育科目
- ひと・まち共創心理系プログラム専門科目
- 卒業研究・課題解決科目
- 学環基盤科目
- ひと・まち共創社会系プログラム専門科目





【資料3-2】履修モデル(ひと・まち共創社会系プログラム①)

自治体活動に重きをおくタイプ) 128単位

科目区分 ()内は単位数		1年次 前期(26)	1年次 後期(17)	2年次 前期(29)	2年次 後期(19)	3年次 前期(19)	3年次 後期(14)	4年次 前期()	4年次 後期(4)
専門科目	卒業研究						研究演習	卒業研究(地域課題研究)	
	課題解決			DXによる地域課題解決(PBL) 入門		DXによる地域課題解決(PBL) I	DXによる地域課題解決(PBL) II		
	心理学 行動科学/社会科学			「次世代育成と教育」の心理学(教育・学校心理学) 質的調査データ解析法 現代社会学概論(社会調査) 課題の発見と検証	「障害と社会の多様性」の心理学(障害者・障害児心理学) 知覚・認知心理学II ヘルスリテラシー 現代社会学概論(基礎理論)	公共政策論 観光政策概論 観光マーケティング論	産業連関論 ヘルスツーリズム論 観光文化心理学 社会心理学特殊講義(社会問題)		
	学環基盤科目	ウェルビーイング学 情報科学概論(実習を含む。) 経営学概論	データ科学のための基礎数学 コミュニケーション概論 人間行動科学入門(心理学概論) 経済学概論 社会学概論 社会調査法I(質的調査) 社会調査法II(量的調査) 地域文化論	統計学概論 デザイン思考論 デザイン演習 行動科学概論 社会学(社会・集団・家族心理学) 知覚・認知心理学I ミクロ経済学I 地域学 DX概論	データ科学のための発展数学 統計学演習 「産業・組織とひとづくり」の心理学(産業・組織心理学) マクロ経済学I コミュニティデザイン論 人工知能概論	人工知能演習 データサイエンス概論 データサイエンス演習 マルチメディア概論(実習を含む。) データベース概論(実習を含む。)	情報化社会概論(情報倫理を含む。)		
共通教育		運動健康科学 知的財産入門 哲学 歴史学 自然科学1 人間の発達と育成1 文化の継承と創造1 社会と医療 環境と人間 食と生命 基礎セミナー 英語 I a / II a 英会話 I a / II a データ科学と社会 I データ科学と社会 II 社会学 経済と法3 経済と法2 経済と法1 山口と世界	知の広場 自然科学2 人間の発達と育成2 文化の継承と創造2 英語 I b / II b 英会話 I b / II b			キャリア教育			

赤字:必修科目, 黒字:選択科目



共通教育科目



ひと・まち共創心理学プログラム専門科目



卒業研究・課題解決科目



学環基盤科目



ひと・まち共創社会系プログラム専門科目





【資料3-3】履修モデル(ひと・まち共創社会系プログラム②)

企業活動に重きをおくタイプ) 128単位

科目区分 ()内は単位数		1年次 前期(26)	1年次 後期(16)	2年次 前期(25)	2年次 後期(18)	3年次 前期(23)	3年次 後期(16)	4年次 前期()	4年次 後期(4)
専門科目	卒業研究						研究演習	卒業研究(地域課題研究)	
	課題解決			DXによる地域課題解決(PBL) 入門		DXによる地域課題解決(PBL) I	DXによる地域課題解決(PBL) II		
	心理学 行動科学/社会科学			質的調査データ解析法	「障害と社会の多様性」の心理学 (障害者・障害児心理学) ヘルスリテラシー 社会心理学概論	組織における健康リスク マネジメント 地域経済論 地域企業経営論 マーケティング論 商品学	中小企業経営論 マーケティング戦略論 ヘルスツーリズム論 観光文化心理学 社会心理学特殊講義 (コミュニケーション)		
	学環基盤科目	ウェルビーイング学 情報科学概論(実習を含む。) 経営学概論	データ科学のための基礎数学 人間行動科学入門 (心理学概論) 経済学概論 社会学概論 社会調査法 I (質的調査) 社会調査法 II (量的調査) 地域文化論	統計学概論 デザイン思考論 デザイン演習 行動科学概論 (社会・集団・家族心理学) 知覚・認知心理学 I ミクロ経済学 I 経営組織論 地域学 DX概論	データ科学のための発展数学 統計学演習 カウンセリングマインド論 「産業・組織とひとづくり」の心理学(産業・組織心理学) コミュニティデザイン論 人工知能概論	人工知能演習 データサイエンス概論 データサイエンス演習 データベース概論(実習を含む。) ビジネスデータ科学	情報化社会概論 (情報倫理を含む。)		
共通教育	運動健康科学 知的財産入門 哲学 歴史学 自然科学1 人間の発達と育成1 文化の継承と創造1 社会と医療 環境と人間 食と生命 基礎セミナー 英語 I a / II a 英会話 I a / II a データ科学と社会 I データ科学と社会 II 社会学 経済と法3 経済と法2 経済と法1 山口と世界	知の広場 自然科学2 人間の発達と育成2 文化の継承と創造2 英語 I b / II b 英会話 I b / II b				キャリア教育			

赤字:必修科目, 黒字:選択科目

 共通教育科目
 ひと・まち共創心理系プログラム専門科目
 卒業研究・課題解決科目
 学環基盤科目
 ひと・まち共創社会系プログラム専門科目



【資料 4】各履修モデルのDP区分別取得単位数

DP区分		プログラム	ひと・まち共創 心理系 プログラム	ひと・まち共創 社会系 プログラム① (自治体活動に重きをおくタイプ)	ひと・まち共創 社会系 プログラム② (企業活動に重きをおくタイプ)
1		幅広い教養と汎用的技能	36	40	39
2	2-1	心理・行動科学的素養	32	16	15
	2-2	社会科学的素養	28	38	38
	2-3	デジタル技術・AI技術活用力	20	22	24
	2-4	問題解決力	8	8	8
3		自律・協働する力と物事をかたちにする力	4	4	4
		合計	128	128	128



【資料5-1】PBL受入先一覧

	区分	企業・自治体等の名称	所在地	実習期間（予定）	授業科目名	受入れ可能人数
1	NPO	NPO法人ほほえみの郷トイトイ	山口県山口市阿東地福1886-1	令和9年度以降 4月～翌年3月	DXによる地域課題解決（PBL）Ⅰ	10人
2	企業	株式会社原田屋	山口県山口市小郡下郷867-30	令和9年度以降 4月～翌年3月	DXによる地域課題解決（PBL）Ⅰ	10人
3	自治体	山口市役所	山口県山口市亀山町2番1号	令和9年度以降 4月～翌年3月	DXによる地域課題解決（PBL）Ⅰ	40人
					DXによる地域課題解決（PBL）Ⅱ	40人
4	団体	山口商工会議所	山口県山口市中市町1-10	令和9年度以降 4月～翌年3月	DXによる地域課題解決（PBL）Ⅱ	40人

実習受入承諾書 (PBL)
(添付省略)

【資料6-1】心理実習受入先一覧

	領域	施設名称	所在地	実習期間（予定）	授業科目名	受入れ 可能人数
1	医療・保健	山口大学医学部附属病院	山口県宇部市南小串一丁目1番1号	令和9年度以降 4月～翌年3月	心理実習	15人
2	福祉	山口県中央児童相談所	山口県山口市吉敷下東4丁目17-1	令和9年度以降 4月～翌年3月	心理実習	15人
3	教育	山口大学附属山口小学校	山口県山口市白石3丁目1-1	令和9年度以降 4月～翌年3月	心理実習	15人
4		山口大学附属山口中学校	山口県山口市白石1-9-1	令和9年度以降 4月～翌年3月	心理実習	15人
5		山口大学附属特別支援学校	山口県山口市吉田3003	令和9年度以降 4月～翌年3月	心理実習	15人
6	産業・労働	一般社団法人山口EAPグループ	山口県山口市平井391-2-102	令和9年度以降 4月～翌年3月	心理実習	15人

実習受入承諾書（心理実習）
（添付省略）



▶ Yu-DXプログラムのカリキュラム

	必修科目	選択必修科目(1科目以上履修すること)
1 年次	<p>● DXとは(知の広場の1コマ)</p> <p>DXに関する基礎的概念を知り、事例よりその推進の方法について理解する。</p> <p>● データ科学と社会I・II</p> <p>データ活用のための基本的素養であるデータの活用方法、セキュリティ・モラルについて学ぶ。</p> <p>● 知的財産入門</p> <p>DXの推進が導く知識集約型社会に必要な知的財産の知識を得る。</p> <p>● 山口と世界</p> <p>山口県の歴史、文化、経済、産業、自然、教育など身近な地域の特色を知り、地域社会の発展に寄与する能力や態度を身に付ける。</p>	<p>● 地域学</p> <p>地域の特性や地域が抱える課題を認識し、自ら課題を設定し、その解決にチャレンジするための素地を培う。</p> <p>● データサイエンス技術関連科目</p> <p>データサイエンスの基本的概念およびデータ分析の基礎的な技術を身に付ける。</p> <p>● 知財展開科目</p> <p>著作権法、特許法、知財情報の分析と活用、ものづくりと知的財産、種苗法、技術経営と知的財産など。</p>
2 年次	<p>● DX 概論</p> <p>DXの概念を理解し、その実施方法を事例ベースで学ぶ。</p>	
3 年次	<p>● DXPBL</p> <p>デジタル技術や知的財産に関する知識などを用いて地域課題の解決方法を考え実践するPBLをおこなう。特に山口県内の企業・自治体と連携し、課題解決方法を模索する。</p>	

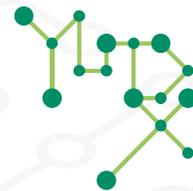
▶ 履修方法

本プログラムの履修参加希望者は、後日お知らせする申請方法により、プログラム参加希望の申込を行って下さい。参加者の募集開始時期は、知の広場での授業が終了後、1年生前期後半頃(7月頃)の予定です。(各科目の履修方法については、プログラムを申込いただいた後、改めてお知らせします。)また、興味のある授業科目のみ受講することも可能です。

※なお、プログラムの申込をしていない場合でも、規定の単位取得により、修了証の発行が可能です。修了証の発行を希望する場合は、随時、事務局までお問い合わせください。

▶ 修了証がもらえる!

本プログラムを通して経験し学んだことは、あなたにとって大きな財産になるはずですが、しかしそれは時間がたつにつれて色あせてしまうものです。卒業証書とともに思い出の品としてもう一ついかがでしょうか。社会人になって修了証を見返すことで、あらためて山口大学で学んだ自分に誇りを持ち、自信を深めてもらいたいと思います。



YU-DX

地域の未来を担う
DX人材育成プログラム
Yamaguchi Univ.
Digital Transformation Training Program

地域課題解決に チャレンジ!!



教育・学生支援機構 DX人材育成推進室

【事務局】教育支援課教育連携係

【住所】〒753-8511 山口県山口市吉田1677-1

【TEL】083-933-5233 (電話受付時間9時~17時)

【E-mail】ga110@yamaguchi-u.ac.jp

【HP】https://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~dxjinzai



教育・学生支援機構 DX人材育成推進室

DX: デジタルトランスフォーメーション
データとデジタル技術を活用して、ニーズをもとに
ビジネスや社会、生活に変革をもたらす取り組み

01 Yu-DXプログラムとは

Yu-DXプログラムとは、山口大学でこれまでおこなっていたYFL育成プログラムにDXマインドを加え発展させた「地域の未来を担うDX人材育成プログラム」です。DXとは、データとデジタル技術を活用して、ニーズをもとにビジネスや社会、生活に変革をもたらす取り組みのことです。近年では、DXにより企業のビジネスを大きく変えたり、様々な地域課題の解決を図ったりなどの事例が多数あり、そのための人材が広く求められています。

02 YFL育成プログラム

YFL育成プログラムとは、2016年度から山口大学を含めた山口県の高等教育機関で開始された、地域で活躍できる力を身につけ、地域の未来を担う人材[Yamaguchi Frontier Leader(やまぐち未来創成リーダー)]を育成する教育プログラムです。YFL育成プログラムでは、DXマインドを除く6つの育成に着目していました。これにDXマインドを加えてYu-DXプログラムへ進化しました。

03 Yu-DXプログラムのロードマップ

入門 1 年次

山口県の歴史や文化、また世界との関わり方について座学の講義を通して学び、考える。またデータやデジタル技術の活用に関する基本的素養を学ぶ。



- ① やまぐちスピリット
- ② グローカルマインド
- ③ イノベーション創出力
- ④ DXマインド

基礎 2 年次

具体的な地域課題、企業課題と向き合い、より深く培ったDXマインド、これまでの知識や技能を用いてその解決方法を考える。



- ⑤ イノベーション創出力
- ⑥ 協働力
- ⑦ 課題発見力・解決力
- ⑧ DXマインド

応用 3 年次

地域社会が抱える課題や企業が直面する課題を自ら発見し、それらをDXマインドでもって解決する実践的な演習を行う。



- ④ 協働力
- ⑤ 課題発見力・解決力
- ⑥ 挑戦・実践力
- ⑦ DXマインド



協働力 04
 目標を共有し、その達成に向けて、お互いの能力・立場を理解し合いながら、自分の立ち位置を意識した行動ができるようなバランス感覚を育てます。
基礎 応用

イノベーション創出力 03
 様々な情報が乱れ飛び、ネットでそれが簡単に手に入られる今だからこそ、情報を的確に把握し、それを新しい切り口で形にできるような力を鍛えます。
入門 基礎

グローバルマインド 02
 グローバルな幅広い視野と、その視野の広さを活かして目の前の課題に取り組める柔軟性を養います。
入門

やまぐちスピリット 01
 山口県は波乱に富んだ歴史、美しい建造物、魅力ある自然環境、実績の高い製造業など様々な地域資源、学問的素材の宝庫です。まずはこれをじっくりと学びます。
入門

地域の未来を拓く しなやかなDX人材

【しなやかに】
 時代の変化、
 社会の多様化を見据えるしなやかさを持ち、
 【はっけんし】
 新たな価値を創出するための課題を見出し、
 【はぐぐみ】
 解決に向けてデータとデジタル技術を適切に活用した方策を構想し、
 【かたちにする】
 実装に導くことができるイノベーション人材

課題発見力・解決力 05
 与えられた問題、そのためのマニュアルではなく、自らの知識や技能を駆使して課題を抽出し、解決のためにその課題に向き合う姿勢を身に付けます。
基礎 応用

挑戦・実践力 06
 大学で身に付けた専門知識や技能を様々な場面で活用してみようとする積極性、実践に移そうとする行動力を育成します。
応用

DXマインド 07
 DXの意義を正しく理解し、データとデジタル技術、知的財産に関する知識などを用いて、課題解決を実践します。
入門 基礎 応用

